

令和3年5月31日

世田谷区長
保坂展人殿

自由民主党世田谷区議団
幹事長 おぎのけんじ

新型コロナワクチン接種に関する緊急要望

国は今年24日、新型コロナウイルスワクチンの接種を加速するため、東京と大阪に大規模接種センターを開設した。東京都においても築地市場跡地を活用した大規模接種を来月実施する予定である。そのような中、世田谷区では予約枠の拡充やまちづくりセンターでの予約支援など、区民に寄り添った対応に努めており、我が会派としても一定の評価をしている。今後、区においては現役世代へのワクチン接種が本格化することになるが、大きな混乱を招かぬよう、自由民主党世田谷区議団として以下の項目を緊急要望する。

記

1. かかりつけ医における個別接種体制を早期に整え、丁寧な区民周知に努めること
2. 東京都ナースセンターや民間派遣会社などに働きかけ、看護師、医師の確保に努めること
3. 歯科医師、薬剤師等、国による打ち手の拡大策に、区として迅速に対応すると共に、獣医師にも拡大するよう国に要請を行うこと
4. 区内の都立施設における大規模接種、近隣区合同接種の実施を東京都に働きかけること
5. 国や都による接種事業への対応に向け、60歳未満の区民に接種券を早期に送付すること
6. 予約空き枠情報について、最新の状況をリアルタイムに確認できるようにすること
7. 区内事業者、各種団体による接種体制構築を支援すること
8. 区職員、教職員、保育従事者等の職域接種を早期検討し実施すること
9. まちづくりセンターでの予約支援体制を継続すること。
10. ボランティア活用を含めたデジタル弱者サポートの定常運用を早急に検討すること
11. 現役世代の接種予約についてはインターネット予約の比重を上げること
12. コロナ禍における災害対応を想定し、災害協定締結事業者への優先接種を検討すること
13. 施術を伴う専門職の早期接種に努めること
14. 今後集団接種、個別接種等において余剰ワクチンが発生しないよう事前に綿密な計画を立てること。また現場での柔軟な対応が採れるようにもしておくこと
15. 接種券を保有しない者に対する接種も、本人確認できることを前提に柔軟に対応すること

以上